

## 松山市卸売市場事業経営戦略

団 体 名	: 松山市
事 業 名	: 松山市卸売市場事業特別会計
策 定 日	: 令和 2 年 3 月
( 改 定 日	: 令和 7 年 3 月)
計 画 期 間	: 令和 元 年度 ~ 令和 10 年度

※複数の市場を有する事業にあつては、市場ごとの状況が分かるよう記載すること。

## 1. 事業概要

## (1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非 適	事 業 開 始 年 月 日	青 果 部 : 昭和50年 1月20日 花 き 部 : 昭和56年 6月29日 水 産 部 : 昭和56年 9月16日
職 員 数	正 規 職 員 18人 会 計 年 度 職 員 7人	市 場 種 別 区 分	中 央 卸 売 市 場
前 回 の 移 転 又 は 再 整 備 年 度	—	次 回 再 整 備 予 定 年 度	未 定
広 域 化 実 施 状 況	該 当 な し		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民 間 委 託	該 当 な し	
	イ 指 定 管 理 者 制 度	該 当 な し	
	ウ PPP・PFI	該 当 な し	

## (2) 使用料形態

※取扱い種別、施設ごとの状況が分かるよう記載すること。

売 上 高 割 使 用 料 の 概 要 ・ 考 え 方	<p>売上高割使用料を充てるべき経費は、原則として、償却費、修繕費、管理事務費、損害保険料及び地代とし、その性質上、市場の使用料収入をもって充てることが適当でない経費は、除外して算定しています。</p> <p>条例及び規則に基づき、卸売業者などから徴収し、売上高割使用料の金額は、売上金額の1000分の3としています。また、令和2年度から、仲卸業者が卸売業者以外の者から買入れた(直荷引き)販売金額を、売上高割使用料に計上しています。</p>	
施 設 使 用 料 の 概 要 ・ 考 え 方	<p>施設使用料を充てるべき経費は、原則として、償却費、修繕費、管理事務費、損害保険料及び地代とし、その性質上、市場の使用料収入をもって充てることが適当でない経費は、除外して算定しています。</p> <p>条例及び規則に基づき、卸売業者、仲卸業者などから、施設ごとの単価に基づき算出した使用料を徴収しています。</p>	
使 用 料 改 定 年 月 日 (消費税のみの改定は含まない)	H 9 年 4 月 1 日	

(3) 現在の経営状況

年間取扱高(t) ※過去3年度分を記載	年度	野菜	果実	水産物	肉類・鳥類・卵類	その他	合計		
	R3	50,968	23,052	8,677		11,500	94,197		
	R4	50,254	21,640	8,461		10,927	91,282		
	R5	47,028	20,530	7,548		9,946	85,052		
年間税込売上高(百万円) ※過去3年度分を記載	年度	野菜	果実	水産物	肉類・鳥類・卵類	その他	合計		
	R3	11,163	8,192	7,977		1,265	28,597		
	R4	11,186	8,334	9,562		1,273	30,355		
	R5	11,340	8,472	8,974		1,175	29,961		
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R3	96.6%		R4	101.1%		R5	102.4%	
経費回収率 ※過去3年度分を記載	R3	68.5%		R4	67.2%		R5	62.9%	
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	R3	28.0%		R4	26.4%		R5	39.8%	
有形固定資産原価償却率 ※過去3年度分を記載	R3	70.0%		R4	70.5%		R5	71.0%	
企業債残高対料金収入比率 ※過去3年度分を記載	R3	45.4%		R4	55.3%		R5	56.3%	

「経常収支比率」は、経常費用が経常収益でどの程度まで賄われているかを示す数値で、100%以上が望ましいとされています。

「経費回収率」は、経営状況の健全性を示す数値で100%が良いとされています。

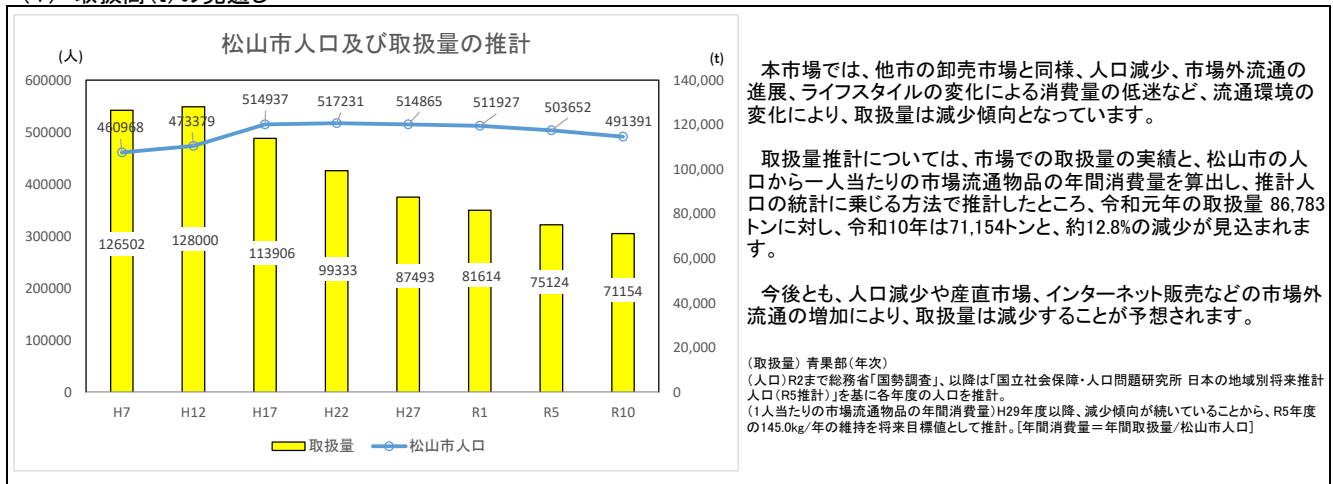
「他会計補助金比率」は、他会計繰出金への依存度を示す数値で、低い方が良いとされています。

「有形固定資産減価償却率」は、資産の老朽化の程度を示すもので、高いほど老朽化が進んでいるとされています。

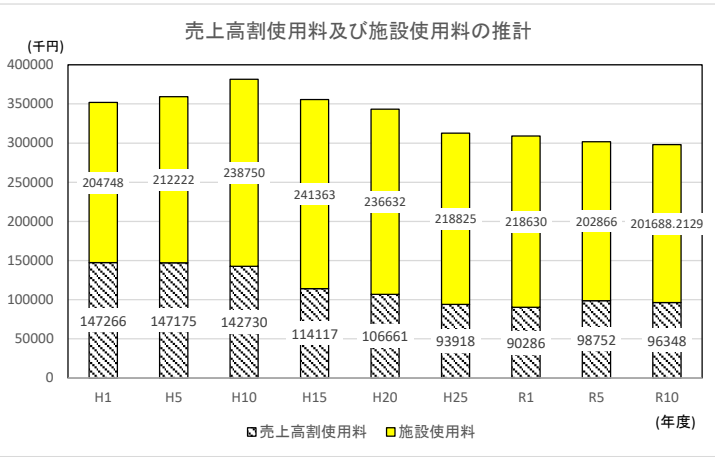
「企業債残高対料金収入比率」は、料金収入に対する企業債残高の割合を示す数値で低いほど良いとされています。

2. 将来の事業環境

(1) 取扱高(t)の見通し



(2) 使用料収入の見通し



本市場の使用料収入は、「売上高割使用料」及び「施設使用料」で構成されています。

令和元年度を基準とした、10年後の使用料収入は以下のように見込んでいます。

売上高割使用料: R1年度 ⇒ R10年度 6,062千円 (106.7%)  
 施設使用料 : R1年度 ⇒ R10年度 ▲ 16,942千円 (92.3%)

取扱量は人口減少に伴い減少傾向にあるものの、売上高割使用料は10年間で6.7%増となる見込みです。

施設使用料は、おおむね横ばいの状況で、今後も一定額を維持しつつ推移する見込みです。

[推計方法]

・売上高割使用料は、前年度の使用料実績に人口増減率(当該年度の人口を前年度人口で除したものを)乗じて推計を行いました。

・施設使用料は、令和3年度から5年度の過去3年間の実績平均から推計を行いました。

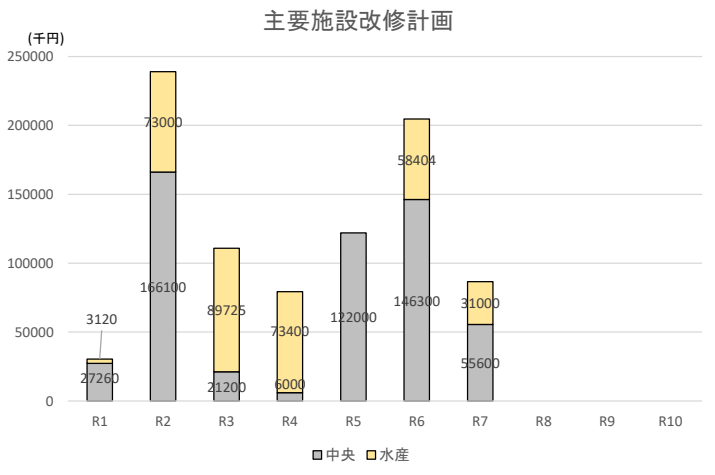
(単位:千円)

売上高割使用料	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
青果	59,882	59,869	59,914	64,203	67,350	65,551	61,977
		99.6%	100.4%	107.2%	104.9%	97.3%	94.5%
花き	5,654	5,281	4,862	4,553	4,483	4,338	4,067
		93.4%	92.1%	93.6%	98.5%	96.8%	93.7%
水産	28,128	28,968	29,527	29,984	29,806	29,113	28,495
		103.0%	101.9%	101.6%	99.4%	97.7%	97.9%

施設使用料	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
青果	143,924	146,365	149,242	146,677	144,079	143,044	146,150
		101.7%	102.0%	98.3%	98.2%	99.3%	102.2%
花き	10,352	10,315	10,610	10,610	10,610	10,610	10,610
		99.6%	102.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
水産	72,278	62,145	62,224	61,112	61,375	60,623	60,627
		86.0%	100.1%	98.2%	100.4%	98.8%	100.0%

(3) 施設の見通し



卸売市場の取扱量は減少傾向にあります。国産青果物の約8割が經由するなど、食品流通で卸売市場は引き続き重要な役割を果たしています。

本市の3市場は開場から40年以上が経過したことにより、施設・設備の多くが老朽化し、その対策として施設の改修等に取り組んでいます。

耐震化に向けた「関連商品売場棟改修」や、フロンガス対策となる「バナナ加工所改修」及び「水産市場 冷蔵庫棟改修」、法令で接続が義務付けられている下水道の整備や蛍光灯の製造禁止に伴う照明のLED化など、施設管理上、早期の実現が求められる対策について、必要最小限の範囲で進めます。

その上で、令和元年度から開始し、現在検討を進めている「市場の将来像」を見据え、必要性や費用対効果を考慮した計画的な施設整備等に取り組めます。

卸売市場(中央・水産)主要施設改修計画(令和6年度～10年度)

(単位:千円)

部門	事業名	年度										経費
		(2019) R1	(2020) R2	(2021) R3	(2022) R4	(2023) R5	(2024) R6	(2025) R7	(2026) R8	(2027) R9	(2028) R10	
中央市場	下水処理場整備	9,270	57,500	21,200								87,970
	関連商品売場棟改修	17,990	108,600									126,590
	バナナ加工所改修				6,000	122,000	146,300					274,300
	卸売場棟照明設備改修							55,600				55,600
水産市場	場外荷上場改修	3,120	73,000									76,120
	冷蔵庫棟改修			89,725	73,400							163,125
	管理棟屋上防水改修						58,404					58,404
	卸売場棟照明設備改修							31,000				31,000
費用合計		30,380	239,100	110,925	79,400	122,000	204,704	86,600	0	0	0	873,109
財源	市場企業債	30,300	239,100	110,900	79,400	122,000	204,700	86,600	0	0	0	873,000
	一般会計繰入金	80	0	25	0	0	4	0	0	0	0	109

(4) 組織の見通し

今後は、「市場の将来像検討事業」など事務量の増加が予想されるため、事務事業の見直しや適正化などに取り組むとともに、市場業務は民間事業者の営利活動と直結する特殊性があるため、そのノウハウを正確に継承するための人材育成や体制づくりが必要となります。  
 具体的には、全国中央卸売市場協会が実施する「業務担当者研修」や「検査職員研修」などに参加し、他市場の先進的な運営手法や経営分析等企業会計全般の知識の取得に努めるとともに、課内で職務ローテーションを実施し、情報の共有や職員の資質向上を図ります。

3. 経営の基本方針

1. 効率的な市場流通の実現と競争力の確保
2. 公正かつ透明性のある市場取引の確保
3. 持続的な市場運営の確保

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

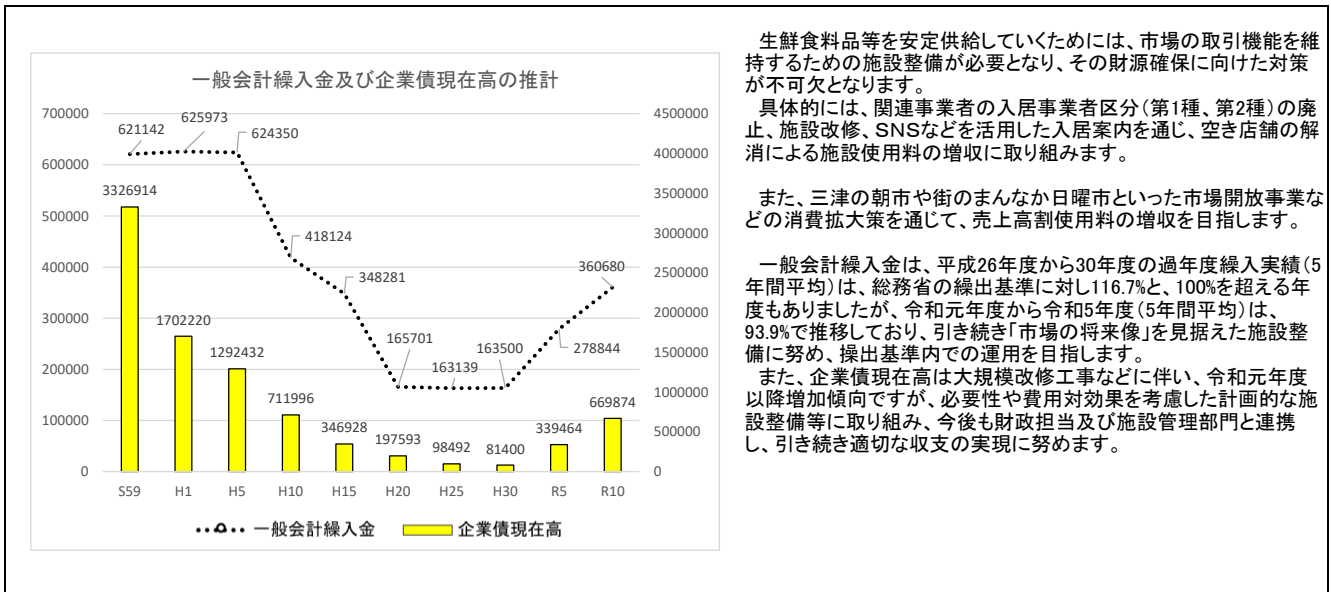
① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設の有効活用</li> <li>・老朽化対策、蛍光灯の製造禁止に伴う照明灯のLED化など社会情勢に対応した施設整備</li> <li>・適切な施設整備計画による事業費の平準化</li> </ul>
-----	---

耐震対策、法令で義務付けられている施設整備などについて、必要な範囲で進めます。  
 その上で、現在検討を進めている「市場の将来像」を見据えた施設整備計画などにに基づき、事業費の平準化を図りながら効率的な施設管理に努め、必要性や費用対効果を考慮した計画的な施設整備に取り組めます。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗解消による施設使用料の増収</li> <li>・繰出基準に基づく繰入金金の確保(総務省通知 繰出基準)</li> <li>・適切な企業債の借入(後年度負担を見据えた借入計画)</li> </ul>
-----	--



③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

投資以外の経費として主なものは、歳出の約27%を占める保安警備、環境衛生、廃棄物処理などの委託料や、冷蔵庫棟、バナナ加工施設などの動力源である光熱水費となっています。

このことから、委託業務の見直しや、省電力化の推進などにより、引き続き経費の削減に努めます。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	令和2年6月の法改正により、卸売市場では取引ルールなどが大きく変わること、新たな競争による混乱が予想されます。 今後は、「市場の将来像」の検討を進める中で、指定管理者制度やPFIなどの民間活力の導入について検討を行います。
投資の平準化	法令により義務付けられている、又は安全な取引の維持に必要な施設整備については、早期に対応し、その他の投資についても、その必要性や費用対効果を考慮した計画的な施設整備等に取り組むことにより、投資の平準化を図ります。
広域化	市場間連携などの広域化は、集荷・販売の効率化が期待できますが、特定の市場に荷物が集中するなど販売面の競合という課題もあることから、今後も調査・検討を行います。
その他の取組	

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料	売上高割使用料は、令和2年度法改正に伴い、仲卸業者の直荷引き販売額を市場使用料に算定したことから増収傾向です。また、引き続き大感謝キャンペーンなどの消費拡大策に取り組むことにより、売上高割使用料の維持・増収を目指します。
企業債	「市場の将来像」を見据えた中長期的な投資計画に基づき、財政担当及び施設管理部門と連携しながら、効率的な施設整備や改修を行うための適切な借入を行います。
繰入金	一般会計からの繰入金は、引き続き繰出基準範囲内での運用を目指します。
資産の有効活用等による収入増加の取組	建物や設備の改修・改築による利便性の向上や設備の高度化により、関連商品売場棟などの空き店舗を解消し、施設使用料の増収を図ることで、資産の有効活用に努めます。
その他の取組	

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	保安警備や清掃業務などの委託料については引き続き維持削減に努め、施設の維持管理に関する委託料は、内容の精査により抑制していきます。
管理運営費	施設の修繕に要する工事請負費は、安全性や緊急度を踏まえ必要最小限の範囲で実施し、備品購入費や通信運搬費など、その他の管理運営費用についても引き続き適切な支出に努めます。
職員給与費	実施事業に応じた職員配置と事務効率の向上を図り、適正な職員給与費となるよう努めます。
その他の取組	

## 5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	<p>卸売市場は、人口減少や流通環境の変化により、取扱量が減少傾向にありますが、平成28年度の卸売市場経由率は青果約6割、花き約8割、水産物約5割となっており、そのうち国産青果物では約8割が市場を経由するなど、今後も安定的な流通拠点としての機能を維持する必要があります。</p> <p style="text-align: right;">(平成30年度 卸売市場データ集 令和元年8月 農林水産省より)</p>
公営企業として実施する必要性	<p>本市の3市場は、生鮮食料品等の安定的な供給や、適正な価格を形成する役割を担うなど、公的な機能を有する流通の中核的拠点であり、今後も公営企業として市場業務を実施していく必要があります。</p>

## 6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	令和6年度改定
---------------------	---------



投資・財政計画(収支計画)

(単位:千円、%)

年 度	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)	令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)	令和9年度 (2027年)	令和10年度 (2028年)
地方財政法施行令第16条第1項により算定した 資金不足額 (R)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業収益－受託工事収益 (B)-(C) (S)	432,791	434,761	124,082	114,047	117,974	448,442	142,441	540,788	492,747	493,636	495,966	498,342
地方財政法による 資金不足の比率 ((R)/(S)×100)												
健全化法施行令第16条により算定した 資金不足額 (T)												
健全化法施行規則第6条に規定する 解消可能資金不足額 (U)												
健全化法施行令第17条により算定した 事業の規模 (V)												
健全化法第22条により算定した 資金不足比率 ((T)/(V)×100)												
他会計借入金残高 (W)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債残高 (X)	81,400	81,400	93,600	175,600	278,000	344,079	339,464	660,521	754,259	735,059	715,803	669,874

○他会計繰入金

年 度	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)	令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)	令和8年度 (2026年)	令和9年度 (2027年)	令和10年度 (2028年)
収益的収支分	292,351	163,500	178,523	243,218	173,440	175,412	278,844	348,344	314,472	331,182	341,487	360,680
うち基準内繰入金	209,113	163,500	178,523	182,675	173,440	175,412	211,182	267,762	245,971	248,527	252,383	254,800
うち基準外繰入金	83,238	0	0	60,543	0	0	67,662	80,582	68,501	82,655	89,104	105,880
資本的収支分	13,220	0	0	0	0	860	2,307	4,671	7,581	9,600	9,628	22,964
うち基準内繰入金	13,220	0	0	0	0	860	2,307	4,671	7,581	9,600	9,628	22,964
うち基準外繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	305,571	163,500	178,523	243,218	173,440	176,272	281,151	353,015	322,053	340,782	351,115	383,644